

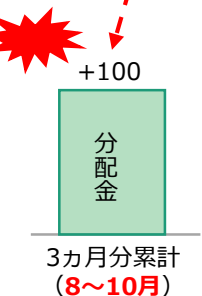
# 特別分配金の減少要因について ①特別分配金とは

外債投資信託の分配金については、四半期ごとに投資信託の基準価額（時価）に応じて、①普通分配金と②特別分配金に区分された上で、当行に分配され、普通分配金を収益認識（特別分配金は、収益認識不可（簿価の減額））。

- ①普通分配金：分配金のうち、評価益（基準価額（時価）－個別元本（簿価））の範囲内で分配されたもの
- ②特別分配金：分配金のうち、評価益の範囲を超えて、元本相当分が分配されたもの（元本払戻金）

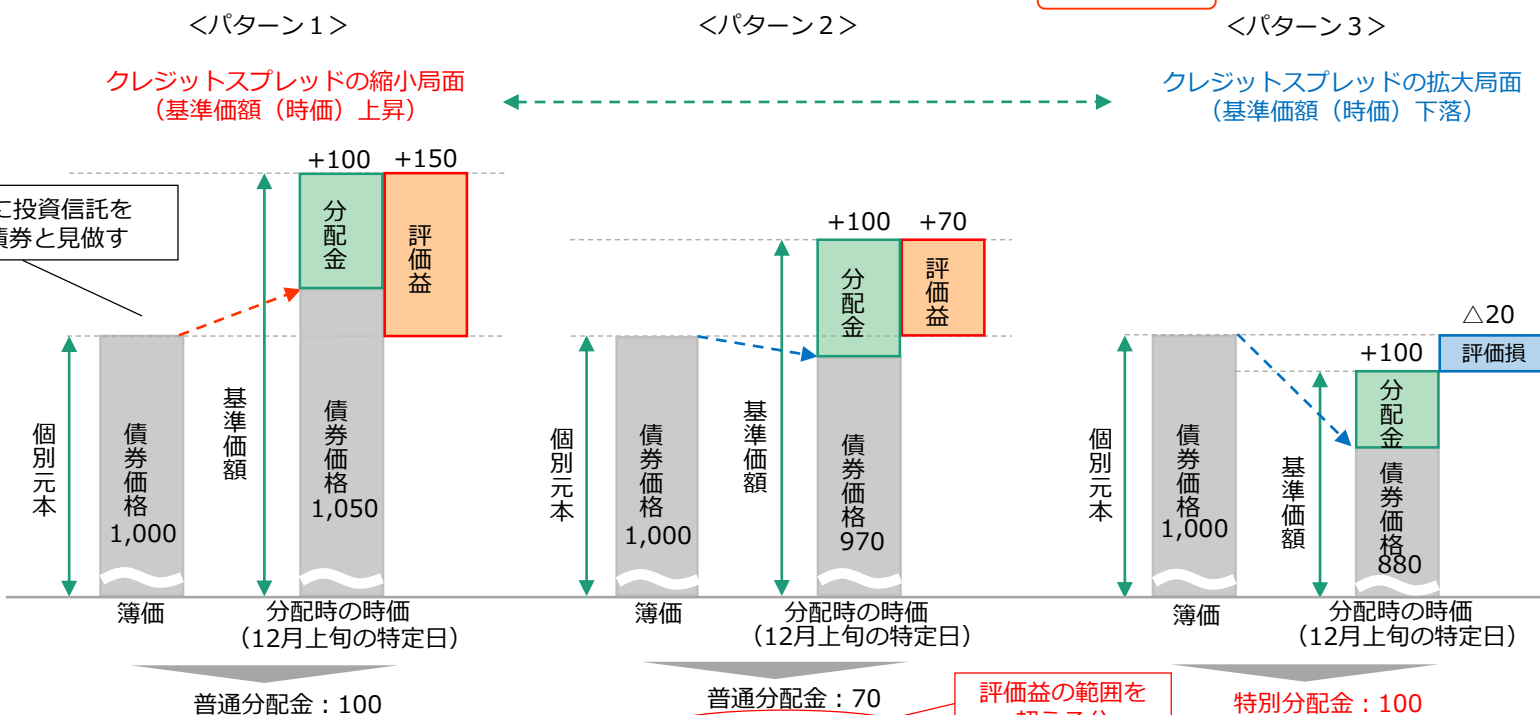
## 特別分配金のイメージ (12月分配の場合)

今回、特別分配金が減少した要因箇所  
(詳細は次ページ)



注 分配金がゼロの場合もあり。

簡便的に投資信託を1つの債券と見做す



評価益の範囲を超える分

特別分配金：30  
(簿価の減額：30)

特別分配金：100  
(簿価の減額：100)

分配金と投資信託の評価損益 (12月上旬の特定日) を比較し、普通分配金 or 特別分配金に区分

特別分配金は、元本払戻金として会計処理されるため、投資信託の満期の到来又は組入債券償還後の投資信託の解約時等において、組入債券等のデフォルト等が無い限りは、特別分配金相当額分、損益が改善

# 特別分配金の減少要因について ②分配金の構成

外債投資信託の分配金には、投資信託内債券等の運用収益や**為替ヘッジ目的により実施する為替取引から生じる損益（為替取引関連損益（為替ヘッジコスト））**等が含まれる。中でも、為替ヘッジコストは、①**外貨調達コスト**、②**ヘッジバランスのズレによる為替差損益**で構成。

今年度は内外金利差拡大による①の増加に加え、**市場環境がボラタイルに推移したことに伴い、②の影響が大幅にマイナス寄与**。これにより、3Qで当行が受け取った特別分配金も1・2Qと比べて減少。

## 外債投資信託の分配金の主な構成※1

※1 下記の他に、fee等も含まれる。また、当行が3Qに受け取る分配金は、**8~10月**における外債投資信託の分配金。

今回の  
プラス影響

投資信託内債券等の運用収益（外貨建て）

為替ヘッジコスト（①+②）

今回の  
マイナス影響

①外貨調達コスト※2,4

※2 「ヘッジ開始時の債券残高に対する調達コスト」のことで、**相場変動に伴い、増減**。  
(投資信託はファンド内で資金調達を実施)

**米短期金利上昇に伴う内外金利差の拡大により、外貨調達コストは増加**

②ヘッジバランスのズレによる  
為替差損益※3,4

※3 「ヘッジ開始後の債券時価と為替ヘッジポジションの時価評価額のズレ（ヘッジバランスのズレ）による為替差損益」のことで、**相場変動に伴い、増減**。

**「クレジットスプレッド拡大×米金利上昇×円安進行」の中で、投資信託内債券の大幅な時価下落に伴うヘッジバランスのズレによる為替差損益が発生**

分配金と投資信託の評価損益（**12月上旬の特定日**）を比較し、普通分配金 or 特別分配金に区分（前ページ参照）

**左記要因により、分配金そのものが大きく減ったため、特別分配金の出方も、対1・2Q比大きく減少**

安定的な市場環境であれば、影響は僅少

※4 直近（23年1月末）までの外貨調達コスト・クレジットスプレッド等の状況は、別途開示の**3Q決算補足資料①**のP.11参照。